

1学年だより

令和3年11月17日(水)

夢の宅配便

1年学年主任

水野 喜代治

保健講話

11月10日(水)に保健講話が開かれました。薬剤師さんの鶴見さんが「タバコの害と正しい薬の飲み方」についてのお話しをしてくれました。

私は、四十代の半ばまで喫煙の習慣があって、毎日、タバコを二箱は吸っていました。保健講話の話の通り、二十代からタバコを吸っていた私の血管は、動脈硬化が進み、危険な状態になっていました。サッカー部の顧問をしていた私は、会場である白鷗中学校で審判をする予定でした。しかし、突然、胸が苦しくなって立っていることも出来なくなり、意識が薄れていきました。救急車の中で、救急隊の人が私の意識がなくならないように「お名前は？、お年は？」など繰り返し簡単な質問を繰り返してきました。どんどん意識が遠くに消えそうになる中、小田原市立病院で緊急の手術をしました。病名は急性心筋梗塞です。心臓の太い血管の一つがほとんど詰まってしまって、血液が心臓に送られない状況になっていました。

親戚の人が、とるものも取らずに、病院に駆けつける中、私は手術室に入りました。手術室に入るときに、母が泣きながら「死んだら、いけないよ。頑張るんだよ！」と、まだ幼稚園児の娘が「お父さん！お父さん！」と声をかけてきました。指先は白く色が変わっていました。私は、家族の言葉を受け止めて手術室に入りました。

心臓の5分1は機能しなくなっていました。なんとか命を取り留めることが出来ました。私は、血管をここまで傷めたタバコを二度とすわないと誓いました。あれから約20年が過ぎました。心臓の方も落ちついて、普通の生活が出来ていることに感謝しています。タバコの有害な成分は血液に入って、血管を傷めます。タバコの害が広く伝えられて、多くの大人が喫煙をしなくなりました。学校を始め、公共施設では喫煙が出来なくなりました。副流煙などタバコは周りの人にも大きな害をもたらします。今回の保健講話でタバコの害をしっかりと理解して、みんなが将来、喫煙をしないように願います。

----- みんなの感想から -----

タバコは色々な害があることを知りました。僕もタバコは嫌いで小田原駅で吸っている人がいると少し嫌な気分になります。最近、道にタバコの吸い殻が捨ててあるので疑問に思います。タバコを吸っているのは犬や猫でもないの自分で捨てろと思います。タバコを吸わない世界になりたいと思います。僕のじいじは、タバコが原因で亡くなってしまったのでそんな悲しい思いはしたくないので世界のみんながタバコをやめて欲しいです。3組 男子

小学生の頃にたばこと薬物乱用についてやったのですが、ほぼ覚えてなかったので、講演会があって学べる事がよかったです。改めてたばこと薬の怖さを知りました。友達に誘われても断る事が出来たらと思います。会社の先輩だと断りづらくないですか…？どうやって断ればいいですかね…。2組女子

自分の心の中でちょっとだけタバコを吸ってみたいと思っていましたが、今回の講話を聞いて、絶対にやめようと思った。薬の話は今まで水以外で飲むことが結構あったが成分が分解される恐れがあるのでやめたいと思う。1組男子